

令和8年度 第4回 教 育 研 究 評 議 会 要 録

日 時 令和8年6月17日（水）13時00分～14時45分
場 所 遠隔会議：第一会議室、各事務室等
出席者 榊理事長、高田学長、三谷理事、中山副学長、山内副学長、宮林副学長、才協副学長、
藤平副学長、吉田文学部長、酒井理学部長、松本生活環境学部長、黒子工学部長、
高地人間文化総合科学研究科長、天ヶ瀬評議員、高岡評議員、鍵和田評議員、篠田評議員、
岡本評議員、水原評議員、吉田評議員、衣川評議員、高村評議員
列席者 近藤理事、青山監事、向総務課長/監査室長、寺本企画課長、川村人事課長、樋口財務課長、
金子施設課長、荒堀国際課長、植田研究協力課長、米谷学務課長、角田学生生活課長、
蛇持入試課長
議 長 高田学長

議事に先立ち、前回の記録（令和8年5月20日記録）について確認を行った。

I 報告事項

1. 令和8年度奈良国立大学機構アカデミック EXPO について
高田学長から、報告資料1により報告があった。
2. 令和9年度概算要求事項（案）について
三谷理事から、報告資料2により報告があった。
3. 2025年度学修到達度・満足度調査の分析結果について
中山副学長から、報告資料3により報告があった。
4. 2026年度奈良女子大学新入生調査の分析結果について
中山副学長から、報告資料4により報告があった。
5. 2025年度全国学生調査（両大学）の分析結果について
中山副学長から、報告資料5により報告があった。
6. 三つのポリシーの改定について
山内副学長から、報告資料6により報告があった。
7. 防災気象情報の改善に伴う本学の授業対応について
山内副学長から、報告資料7により報告があった。
8. 国際戦略センターの活動について
鍵和田学長補佐から、報告資料8により報告があった。
9. 両大学の連携の取組について
三谷理事から、報告資料9により報告があった。
10. その他
特になし

II 審議事項

1. 第5期中目中計に向けたヒアリング調書策定WGの検討状況について

中山副学長から、審議資料1により説明があり、審議の結果、引き続き7月の教育研究評議会で審議することとした。

酒井理学部長から、奈良教育大学との間で4センターの統合計画を進めていることについて、大学間連携の推進の観点から、回答内容に含めたほうが良い項目があるのではないかと意見があり、中山副学長から、指摘の点については記載したいとの説明があった。

酒井理学部長から、すでに廃止となったアジア・ジェンダー文化学研究センターを含む学内センター再編に関する今後の見通しについて質問があり、高田学長から、再編について現状決定しているものはないが、機構の下に立ち上げる予定の研究支援組織のもと、挑戦的及び萌芽的な新しい研究グループを作っていくことを考えているとの説明があった。

2. 大学院改組について

中山副学長から、審議資料2により説明があり、審議の結果、引き続き7月の教育研究評議会で審議することとした。

酒井理学部長から、文部科学省から具体的なカリキュラムの提示を求められている中、一覧表から履修プログラムを削除したことについて質問があり、高地人間文化総合科学研究科長から、設置審査書類の中でどういった見せ方をするか検討中であるとの説明があった。

酒井理学部長から、学生の所属がどこまで学位記に記載されるかについて質問があり、学務課長から、学位規程に則り専攻名までの記載となる旨説明があった。酒井理学部長から、専攻を大括り化した関係で学修した分野が見えにくくなるとの意見があり、吉田評議員から、エビデンスが必要ということであれば大学院においてディプロマサプリメントを整備すれば足りるが、基本的には学生自身が修士論文や博士論文で説明できるのではないかと意見があった。高田学長から、WGで整理していきたいとの説明があった。

3. 法人評価（4年目終了時）に係る「達成状況報告書」の提出について

中山副学長から、審議資料3により説明があり、審議の結果、今月末の提出期限までの間に微修正があれば執行部に一任することとして承認し、役員会に付議することとした。

4. 法人評価（4年目終了時）に係る「業務実績報告書」の提出について

三谷理事から、審議資料4により説明があり、審議の結果、今月末の提出期限までの間に微修正があれば執行部に一任することとして承認し、役員会に付議することとした。

5. その他

特になし

次回、教育研究評議会を令和8年7月15日（水）13時から開催することとして散会